

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-84220

(P2020-84220A)

(43) 公開日 令和2年6月4日(2020.6.4)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C23C 18/26 (2006.01)	C23C 18/26	4F100
C23C 18/28 (2006.01)	C23C 18/28	4J026
C23C 18/30 (2006.01)	C23C 18/30	4K022
C08F 297/00 (2006.01)	C08F 297/00	
B32B 15/085 (2006.01)	B32B 15/085 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 30 頁)

(21) 出願番号 特願2018-215683 (P2018-215683)

(22) 出願日 平成30年11月16日(2018.11.16)

特許法第30条第2項適用申請有り ウェブサイトの掲載日:平成30年9月7日 [http://www.jspp.or.jp/kikaku/sympo2018/d1/Symposia2018\\_Poster.pdf](http://www.jspp.or.jp/kikaku/sympo2018/d1/Symposia2018_Poster.pdf)

(71) 出願人 598015084

学校法人福岡大学

福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(74) 代理人 100099508

弁理士 加藤 久

(74) 代理人 100182567

弁理士 遠坂 啓太

(74) 代理人 100197642

弁理士 南瀬 透

(72) 発明者 八尾 滋

福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号

学校法人福岡大学内

(72) 発明者 中野 涼子

福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号

学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポリオレフィンのメッキ成形体およびその製造方法、リサイクルポリオレフィンを含有するポリオレフィン成形体をメッキする方法、ならびに、リサイクルポリオレフィンを含有するポリオレ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】メッキ層が剥がれにくい、ポリオレフィンのメッキ成形体の製造方法を提供する。

【解決手段】共重合体を分散させたメッキ助剤液に、ポリオレフィン成形体を接触させて、表面に前記共重合体を含む共重合体層を設ける表面修飾工程と、ナノ金属層を設ける表面触媒化工程と、無電解メッキ処理することで、メッキ層を設けるメッキ処理工程とを有し、前記ポリオレフィン成形体が、リサイクルポリオレフィンを含有するポリオレフィン成形体であり、前記共重合体が、側鎖に炭素数8以上の長さのアルカン鎖を有する、(メタ)アクリレート、(メタ)アクリルアミド、ビニルエーテル、ビニルエステル、シロキサン、オレフィン及び置換スチレンからなる群より選ばれるいずれかのモノマーに由来する構成単位(A)と、金属吸着能を有する構造を側鎖に有する構成単位(B)とを含む共重合体である、ポリオレフィンのメッキ成形体の製造方法。

【選択図】図6

